

令和8年度(仮)推し食マイストーリー&スタンプラリー実施業務 公募型プロポーザル方式 評価基準

審査項目		評価の視点
1	事業理解 全体の方向性	①事業の目的を踏まえその実現に向けた具体的な企画が提案されているか。 ②市民から多くの「推し食」投稿を集め、その情報を活用して実店舗への周遊(来店)を促す一連の仕組みが、一貫性を持って提案されているか。
2	投稿促進の仕掛けと サイトの構築	【投稿促進】 ①著名人へ市民が推しグルメを教える形式として実施する等市民の継続的な投稿を促進するための具体的な提案がされているか。 ②単なる店名紹介に留まらず、その店を推す理由や背景にある物語(ストーリー)を引き出し、市民の共感を呼ぶ仕掛けが提案されているか。 ③投稿に対するインセンティブを用意し、多くのひとが投稿したくなる具体的な仕組みが提案されているか。 【サイト構築】 ①全ての利用者にとって分かりやすく、使いやすいサイト構成及びデザインとなっているか。 ②コアターゲットである20~30代の SNS アクティブ層が好み、北九州の食の魅力が効果的に伝わるデザインになっているか。 ③市民の盛り上がり醸成のため、投稿者がお互いにコミュニケーションをとれる仕組が提案されているか。 ④次年度以降の施策展開に柔軟に対応できる拡張性・汎用性を持たせたサイト設計となっているか。あわせて、将来的な店舗の追加や情報の更新を効率的に行える、運用性に優れた管理画面やデータベース構造が具体的に提案されているか。
3	実店舗への送客を促す 仕組の構築	【デジタルスタンプラリー】 ①ポイントを貯める楽しさと、獲得数に応じた魅力的な特典を連動させ、多くの市民が継続して店舗を巡りたくなる仕掛けが提案されているか。 ②システム上の利便性や店舗への導入手順、トラブル対応を含め、円滑かつ確実に事業を遂行できる実効性の高い計画が提案されているか。デジタルスタンプラリー導入事例を踏まえた提案がされているか。 【パネル展示】 ①市民から寄せられたエピソードを、読み手の心を動かすストーリーとして魅力的にリライトし、店舗への共感と来店意欲を最大化させる展示構成・デザインが提案されているか。
4	広報 プロモーション力	①多様な世代に本イベントを認知させるための具体的な提案がなされているか。 ②話題創出のための PR 動画(30 秒)や SNS 画像が、20~30代の感性に響き、思わず「シェア」をしたくなる話題性・クオリティを備えているか。 ③各媒体から専用サイトやデジタルスタンプラリーへの誘導がスムーズに設計され、市民が迷わず参加できる実効性の高い広報計画となっているか。
5	システムの 継続性・拡張性	①単発のシステム利用に留まらず、将来の多様な施策展開にも柔軟に対応できる汎用性・拡張性を備えた設計となっているか。
6	業務実施体制	①業務を円滑に実施できる体制及びスケジュールとなっているか。 ②提案内容に対して見積金額が妥当であるか ③KPIの設定及び効果検証の考え方が整理されているか
7	類似業務実績	①本業務と類似する事業の実績を有し、その経験やノウハウを本業務に活用することが期待できるか。
8	独自提案	①本事業の内容にあった提案となっているか。 ②実現可能な提案となっているか。

上記のとおり応募者に提案を求め、各委員 **100点満点**による審査・評価とする。